

前回 8 月 29 日の例会記録

出席の状況

会員数 54名（内出席免除 3名） 出席者数 44名 欠席者数 10名
出席率 84.62% 前々回訂正 90.38%
欠席者 樋口、入江、加戸、木本、家守、小松原、丹治、氏房、（平野）、（渡辺）

ビジター

表敬訪問〈岡山北RC〉会長 双田 直 様
幹事 岸本 達也 様
〈岡山RC〉岡本 典久 様、 中島 義雄 様



S.A.A.

岡山北ロータリークラブ様：

岡本（和）会員：・岡山北RCの双田会長様、岸本幹事様ご訪問ありがとうございます。

・猛暑続きの8月も終わろうとしています。会員の皆様のご健康を祈念して。

末吉会員：岡山北RC会長双田様、幹事岸本様、ようこそお越しくださいました。

竹本会員：お誕生日に素敵な花束をありがとうございます。何歳になってもとても嬉しいものですね。会員の皆様に感謝してスマイルいたします。

相原会員：岡山北RCの双田会長、岸本幹事、ご訪問ありがとうございます。双田会長とは幹事の同期として陰ながら応援しております。

植田会員：久しぶりの出席ですのでスマイルします。

西岡会員：小松原様、先日はありがとうございました。

7件 29,000円（累計 272,000円）

会長報告

会長 岡本 和 夫

マラリア

マラリアは、歴史に記された病気のうち最古のもの1つであります。地中海地域では古代から20世紀中盤までよく見られ、古代ギリシャやローマ帝国の衰退にこの病気がかかわったと考える学者もいます。今日マラリアは大部分がアフリカ、アジア、そしてラテンアメリカの熱帯、亜熱帯地方の100の国に限られています。第一次、第二次世界大戦とも、中東、北アフリカ、そして特に太平洋方面で戦う兵士にとって深刻な問題でありました。

この病気は悪臭のする、よどんだ湿地や沼地の近くで発生し、ここから発生する有毒、有害な蒸気より起こると考えていたので、イタリア人は「悪い空気」という意味の「mal'aria」という名前をつけました。

この病気は蚊、病気を起こす寄生虫、そしてホストとなるヒトで構成されます。マラリアを媒介するハマダラカは、アノフェレス属に60種類、ヒトに寄生する原生動物が4種類一最も致死性である熱帯熱マラリア原虫プラスモジウム・ファルシバルム、三日熱マラリア原虫P. ビバックス、卵形熱マラリア原虫P. オバール、四日熱マラリア原虫P. マリアーあります。この寄生原虫を持っているメスのハマダラカが人を刺すと、その寄生虫が血中に入り込み、肝臓の中で成長して形を変え、次に赤血球に侵入していきます。熱による発汗と冷汗、高熱、頭痛、不快感と痛み、貧血を起し死に至ることが多い。

1897年イギリスの軍医ロナルド・ロスがインドで、マラリアの原虫を発見しました。

予防および治療はキニーネ、殺虫剤DDT、アルテシニンを中心とした複合療法などがあります。

アヘンは古代から薬として、また娯楽用として使用されていました。19世紀、イギリスで使われるアヘンはほとんどインドから来ましたが、イングランド東部のフェンという沼沢地帯で、地元民は古くからケシを栽培していました。この地方ではかつてマラリアが流行していて、アヘンは「瘧^{オコリ}」という発作的な震えに効くとされ、地ビールに混ぜたり、子供の場合はケシ入りの茶として飲まれました。マリアアとアヘン中毒の結果、フェン地方の幼児死亡率は高かった。



幹事報告

幹事 末吉 賢 多

① 9月のロータリーレートは1ドル=102円です。

② 2015-16年度 第8・第9グループIMのレポートが届きましたので、配布しております。

③ 本日のクラブフォーラムの資料を配付しております。

④ 米山梅吉記念館より「館報Vol.28」、秋季例祭のご案内、賛助会ご入会のお願いが届いておりますので回覧致します。

⑤ 岡山備南RC創立40周年記念誌、他クラブ週報を回覧致します。

⑥ 明日8月30日(火) 18:30から「はまゆう」で第1回IDMを開催いたしますので、ご出席予定の方はよろしくお願い致します。

⑦ 明後日8月31日(水)18:30から「割烹津山」にて、歴史同好会定例会を開催致します。ご出席予定の方は、よろしくお願い致します。



例会プログラム

クラブフォーラム「IMについて」

2016-2017年度 第8・第9グループ合同IM バズ・セッションのテーマについて

1. バズ・セッションとは

会議や演習に用いられる手法。

参加者を少人数のグループに分けて、自由に討議させ、そこで得られた結論をグループの代表者が発表し、さらに参加者全体としての討議を進めるというもの。

2. 方 法

(1)同じテーマをすべてのグループで話し合う(前年度は30グループ)。

(2)3つ程度のテーマを挙げて、グループ毎にテーマを分けて話し合う。

3. テーマ案

(1)大きなテーマとして、「地域で貢献したい奉仕活動」が挙がった。

(2)グループ毎に話し合うテーマとして、「奉仕活動の活性化と知名度の向上」が挙がった。

(3)5大奉仕のうち、「社会奉仕」「職業奉仕」「クラブ奉仕」の3つのテーマを挙げる。

(4)その他に、ロータリークラブの規定の改正を受けて、「現在のロータリークラブに対して思うこと」が挙がった。

クラブフォーラムにおいて、「委員会・同好会活動のあり方」(特に同好会活動)、「四つのテスト」を取り上げてはどうかとの意見があった。



クラブ情報

2016～2017年度 国際ロータリー第2690地区 インターアクト岡山ブロック協議会

インターアクト委員長 日笠 常信

2016年8月27日(土) 15:30～17:00 岡山理科大学附属中学校・高等学校会議室

参加者 インターアクト地区委員

岡山県内8ロータリークラブ各インターアクト委員長

県内8高等学校各インターアクトクラブ顧問教諭

当クラブ参加者 岡本和夫会長 インターアクト委員長日笠常信

理大附属中学校 教頭山根美佐夫先生 顧問教諭是沢晋哉先生

同西野大樹先生 同小野恵子先生

総数計24名

討議事項 1.本年11月23日(水) 第40回岡山県インターアクトクラブ指導者講習会の準備等

研修内容:科学ボランティア他

2.本年度の地区大会の準備等についての質疑、応答

本年は会場代が浮くので熊本県・大分県の21インターアクトクラブに一定額を寄付、各インターアクトクラブのビデオレターの同封

3.その他 地区インターアクトクラブ会計の剰余金の有効活用について

岡本会長 ご多忙の中、ありがとうございました。



ゴルフ同好会からのお知らせ

ゴルフ同好会幹事 西 岡 貞 則

第267回ゴルフコンペを予定通り9月11日(日)、後楽ゴルフ倶楽部において5組20名の参加で行います。また、第268回ゴルフコンペを下記の通り開催いたします。皆様のご参加お待ちしております。

1. 日 時:平成28年10月12日(水) 集合時間:午前8:30 スタート:午前9:30

2. 場 所:岡山カントリー倶楽部 桃の郷コース 岡山市北区田益483-1

3. 競技方法:18ホールストロークプレイ(ローカルルール適用)



寄稿文「後立山縦走登山」(平成28年8月10日～13日) 岡本 和夫 会員

3年間遠ざかっていた百名山への登山をお盆休暇を利用して行った。単独で鹿島槍ヶ岳から八峰キレットを経由して五竜岳へ至るという計画を立てた。

10日の仕事を終えて21時に出発した。途中何度も睡魔に襲われ、1時間ずつ計4回SAで仮眠をとった。安曇野ICから大町方面に向かうにつれ、爺ヶ岳の3峰と双耳峰の鹿島槍ヶ岳が近づいてくる。扇沢の駐車場に車を入れ、8時30分に出発した。登山口(1335m)で届けを出したが、しばらくぶりの本格的な登山で体力的にも自信がなく、鹿島槍ヶ岳で引き返すこともありうることを係員に説明した。途中のケレン(1900m位)まではジグザグを繰り返しつつ、急坂を登って行った。その後、道は尾根に沿う格好で緩やかになると、はるか下方に扇沢の駐車場、南に蓮華岳や針ノ木岳が見えだした。正午に稜線上の種池山荘(2451m)に到着した。西方か南に立山や剱岳が望める場所で軽食を摂り、ハイマツ帯の緩やかな道を爺ヶ岳南峰をめざして歩きだした。まもなくして左の腓腹筋と内転筋にひきつけが始まり、持参の芍薬甘草湯を服用した。本日の宿泊予定地の冷池山荘はここからはほぼ半円形に道を辿った北方にあり、その奥に優美な鹿島槍ヶ岳が鎮座している。爺ヶ岳南峰(2660m)頂上からは大町市街地が望めた。南峰からは中央峰と北峰の頂きの直下をトラバースしながら下って冷池乗越に至った。樹林帯を登りかえて午後3時に山荘(2380m)に到着した。初日の歩行時間は6時間半であった。

12日は午前5時すぎ、山荘北の広場でご来光を拝み出発した。テント場をすぎ、信州側が切れ落ちた道を登って約1時間で布引岳(2683m)に、さらに約1時間で鹿島槍ヶ岳南峰(2889m)に達した。遮ることのない360度の眺めはすばらしく、はるか遠くに富士山・北岳・八ヶ岳、特にこれから歩いていく五竜岳までの険しい岩稜帯を望み気を引き締めた。北峰まではいわゆる吊り尾根を成しており、やせて岩が幾重にも連なる危険地帯である。南峰より急な坂を細かくジグザグを繰り返して下り、岩稜帯へ進んだ。両手でホールドしながら越え、次は両側が切れ落ちた尾根を進み、30分で八峰キレットへの分岐点に達した。ザックをデポし北峰(2842m)へ登った。ここまでやって来る登山者の大半はヘルメットやハーネスを装備しており、万全の態勢である。いよいよ分岐点より北へ一歩踏み出し、前に進む決心はゆるぎないものになっていた。分岐点より見る南峰はまさに槍の名にふさわしい山容であった。はじめ比較的ゆるやかな下りであったが、いつの間にか岩稜帯に変わり、鎖が登場してきた。八峰キレットの核心部は初めと終わりに梯子があり、間には幅40～50cm位の架橋や道幅の断崖を鎖を持って進むという所である。緊張感をもって慎重に進み、最後は急な斜面を下ってキレット小屋に到着した。9時であった。小休憩ののち、今度は登りである。富山側につけられた道を進み、連続する鎖を慎重にクリアし約1時間で口ノ沢のコル、再び登り返して11時過ぎに北尾根ノ頭(2560m)に達した。いよいよ前方に岩稜帯G5・G4と五竜岳が近く見えてきた。軽食を摂り出発。長めのハシゴを下って、赤抜という崩落しかけている狭いすべりやすい道を慎重に歩きG5直下まで到達した。3つの大きな岩稜が前方に見てとれるが、慎重に越えている他の登山者が小さく見える。ザレた急な坂をゆっくり登り、最初のコブに取りついた。丸印のペンキを目印に両手でホールドしながら進むも、信州・富山側とも断崖である。G4を越え、やや平坦な道に変わったところで休憩をとった。少しガスが出かけているが、晴天である。振り返るとはるか彼方に鹿島槍ヶ岳が望め、辿ってきたルートを振り返った。ここから本日最後の五竜岳南面を約250m登ることになる。山全体が岩のコブだらけで遠目には登山道は全くわからない。鎖も多く、3点保時の基本動作を守ってやっとの思いで頂上(2814m)に到達した。西方より雲が湧き、唐松岳や五竜山荘が見え隠れしている。山荘(2490m)までの道のりはかなりありそうに見えた。頂上付近は大岩が多く、鎖もあって慎重に下った。段差がきつく、かつ滑りやすいこの下山道は苦手で、山荘まで通常の倍近くかかった。本日の歩行時間は10時間であった。

13日の最終日は3時に起床。外に出てみると西風が強く、ガスの合間にオリオン座が東の空に手が届きそうなほどの近さに見えた。まだ暗い4時にヘッドライトを灯し出発した。白岳(2541m)の手前で遠見尾根への道を分け、ゆるやかに下って行った。大黒岳の手前あたりから白みはじめてきた。道はしだいに険しくなり、信州側が切れ落ちている。そして岩稜帯の牛首である。距離は短いが尖った岩肌と鎖をホールドし、岩に狭い足場を求めて慎重に越えていった。そして6時30分唐松頂上山荘(2626m)に到着した。ザックをデポし、唐松岳(2696m)に向かった。頂上の眺望は申し分なく、南にはどっしりと構えた五竜岳、北には、不帰嶮から白馬岳へ至る山並みが望めた。不帰嶮に挑んでいる登山者も結構いた。7時半前、山荘をあとにして八方尾根を下っていった。列車待ちのため白馬駅前で昼食を摂り、JR大糸線で信濃大町駅へ、さらにバスで扇沢に戻り車を確保した。いつも通り彦根から栗東まで渋滞に巻き込まれ、22時すぎ無事帰宅した。

9月お祝い行事

例会情報

本日のメニュー (9月5日)

真鯛のカルパッチョ 彩り野菜のサラダ 牛フィレ肉のグリエ 野菜でつないだソース
デザート コーヒー パンとバター

次のメニュー (9月12日(ヘルシー和食))

丼 物 鮭炙り丼(舍利 煎り胡麻 温玉 大葉) 別猪口 もみ海苔 山葵 県産昔醤油
小 鉢 ちぎり蒸し鶏と胡瓜の和え物 くこの実
冷や物 穴子とろろ蕎麦(茶蕎麦) 錦糸玉子 刻み葱 椎茸 山葵 香物 三種